



人生を豊かで美しいものに・・・  
文化学院を創った西村伊作はその思想で、ひとにも自分にもその悦びを持ちたいと考えていた。  
絵画、陶芸だけでなく建築事務所を持ち、住宅、教会などやっただけでなく、陶芸だけでなく建築に興味を持った人々が多いが、これはおかしな。我々の人生には衣服や道具と同じく毎日、目にふれるものであるのに。  
そこで今回は20世紀の世界的な建築家のル・コルビュジエと彼の美的創造の基である、めずらしい絵画などの展示を通して皆さんの目覚めた目から日本の街の建築を見つめなおして下さい。どんなに、つまらない建築が我々の人生をつまらなくしているか、見えてくると思います。

館長 西村 八知

# 企画展 「ル・コルビュジエと建築家坂倉準三の友情」 —ル・コルビュジエから準三・日本へのおくりもの—



1936年 ル・コルビュジエとコルビュジエのアトリエにて



1937年 パリ万国博覧会 日本館

20世紀の建築界最大の巨匠であるル・コルビュジエを崇拜し、彼のアトリエを目ざした若い建築家達は世界中に数多いが、坂倉準三もその一人でした。1929年に渡仏して2年間、エコール・デュヴリツクで建築を学んだ後、正式にアトリエ入門。数多くのプロジェクトに携わり、ル・コルビュジエの最も忠実な日本人弟子となった。6年後に一時帰国し、翌年万国博覧会の日本館設計の為に再度渡仏。ル・コルビュジエのアトリエの片隅で設計案を練り、1937年のパリ万国博覧会で見事グランプリ受賞し彼の名を一躍国際的なものとした。

1941年にはアトリエで一緒に作ったシャルロット・ペリアンを推薦。日本政府の招きで来日し選抜・伝統・創造・展を主催。1955年にル・コルビュジエは国立西洋美術館設計の為に来日、「ル・コルビュジエ・レジエ、ペリアン3人展」を開催した。又渋谷の東急文化会館の織機のプロサインを準三より依頼され実現させた。ル・コルビュジエと準三との信頼関係は師弟のそれ以上に感謝の心で結ばれていた。ここで二人の友情を物語る様々な資料を展示し、ル・コルビュジエの日本との関わりをクローズアップしたいと思います。

入館料：一般800円 大・高600円 中・小400円  
団体割引、身障者割引有り

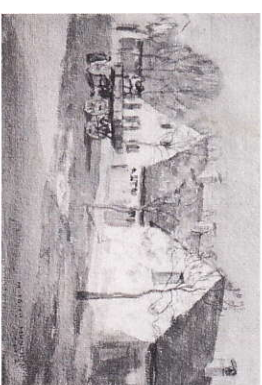
ミュージアムショップ：Le Vent  
カフェテラス：Rolling Pin  
コンサート：Rolling Pin

8月12日(土) サトウハチロー/ボサノヴァ 3,000円  
8月18日(金) 小幡航一/オオノラのタビ 3,000円  
8月26日(土) 芥川千鶴 夏から秋へのコンサート 2,500円  
開場：18:00 開演：18:30

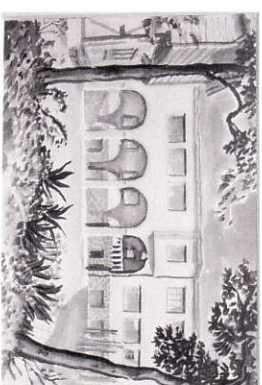
協力 文化学院・ギヤラリー・サカ・坂倉ユリ

このチラシ持参の方は4名様まで割引致します。

## 常設展 「西村伊作」「文化学院の教育に携わった芸術家たち」



1912年 石井柏亭「三ツツツツ風雨」水彩

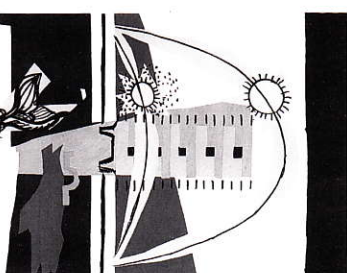


1930年 赤城泰翁「原前屋」水彩

西村伊作 (1884-1963) は青年期から独学で絵画、陶芸、建築を学び、多くの著書と住居の設計を手かけ、生活の改善、欧米化を提唱しました。1921年に神田駿河台に私費を投じて「文化学院」を設立し、生徒一人一人の個性を尊重した自由な教育を実践しました。創設メンバーには与謝野晶子、鉄幹夫妻、石井柏亭等がいました。その後も佐藤春夫、菊池寛、川端康成といった作家、又中川紀元、有島生馬、山下新太郎などの芸術家、戦後も遠藤周作、谷川徹三、美術では柳方志功、脇田和、山口薫、佐藤忠良の一流芸術家による教育が行われ、現在もその歴史を踏まえたユニークな教育が行われています。

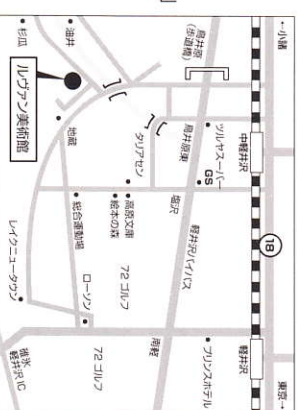


1955年 初来日時におかれた鎌倉近代美術館でのスナック



「犀角の詩」は1947年から1953年にかけてル・コルビュジエが制作し、1955年に刊行された唯一の詩画集です。リトグラフ19点から構成され、当時の彼の建築作品とも密接に関連しています。この図柄を坂倉ユリ(準三夫人1912〜)がグラフィックとして制作し展示します。

- JR長野新幹線「軽井沢駅」下車  
又は、乗継ぎしなの鉄道  
「中軽井沢駅」下車で3km  
※夏期は両駅より路線バス運行
- 上信越自動車道「雫水・軽井沢IC」より12km  
軽井沢/ババイス 18号「鳥井原」  
交差点(歩道橋)より杉瓜方面へ  
1.5km
- 駐車場 20台収容



KARUZAWA  
MUSÉE LE VENT

Karuzawa Bijyutsu Bunkagakuin Foundation  
957-10 Nagakura, Karuzawa-nachi, Kitasaku-gun Nagano 389-0111  
Tel:0267-46-1911 Fax:0267-46-1910